

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 7月 24日

事業所名:こどもトレーニングハウス・にじいろバナナ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7名	0名	0名	・本館・別館を分けて、利用児が特性や安全に利用できるよう工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切である	7名	0名	0名	・児発管1名、児童指導員2名、保育士2名、作業療法士1.5名、言語聴覚士週1日、理学療法士月2日 配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7名	0名	0名		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4名	3名	0名	・必要に応じて振り返りを行い、改善策を立て実施しています。	・必要時に応じて振り返りを実施し、掲示物やダブルチェックを行うことで、業務改善が図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2名	5名	0名		・保護者等に対して評価実施を済み、今後、アンケートの集計した結果と具体的な改善策を公開する予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0名	1名	6名		・今後、事業所内に会報し、ホームページ等で公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0名	0名	7名		・今後、実施指導の意見や第三者による評価を行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7名	0名	0名	・年間の研修計画があり、研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7名	0名	0名	・個別支援計画は、スタッフ全員で話し合いを行い、作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4名	3名	0名	・発達検査等を基に、利用児に合わせた支援を実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7名	0名	0名	・個別支援計画は、スタッフ全員で話し合いを行い、作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6名	1名	0名	・自己選択性を図るために自由遊びを重視し、その中で関わり方を5領域に合わせて支援しています。	・自己選択性を図るために自由遊びを重視し、その中で関わり方を5領域に合わせて支援しています。今後は、会報・ホームページ等で月毎のイベント等を発信していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1名	5名	0名		・休日の受入れは行っていないが、1学期の課題を振り返って、達成できていない課題に対して目標を設定して取り組めるよう支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	7名	0名	0名	・利用児に合わせた専門的実施支援計画書を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6名	1名	0名	・朝、一日の流れをホワイトボードにて確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4名	3名	0名	・一日の支援内容や振り返りを行い、伝達事項等を周知・確認しています。しかし、時差で退勤するスタッフへの伝達不足があります。	・伝達不足がない様、ツールを使用し、いつでも・誰とでも情報共有できるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7名	0名	0名	・その日のうちに記録がきちんととられているか、最終的に管理者が確認しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7名	0名	0名	・3か月から6か月毎に支援者会議を行い、検討しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6名	1名	0名	・課題を5領域に分けて支援計画を立て、支援を行っています。		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7名	0名	0名	・出来る限り参加しているが、利用児等の状況により代役を立てる場合があります。	・代役を立てる際は、会議の前に申し送りを行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6名	1名	0名	・小学校のコーディネーターや支援担当員と課題を共有し支援しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0名	1名	6名		・医ケア児や重度心身障害児の利用がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7名	0名	0名	・就学前後に保護者や就学先の先生を含めて、情報共有・対応案を検討する会議を開催しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0名	1名	6名		・事例がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2名	5名	0名		・事例がありません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0名	2名	5名		・今後交流を持つ機会があれば、積極的に取り組んでいきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0名	2名	5名		・今後、協議会や地域の活動を情報収集し、参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7名	0名	0名	・デロボやメールにて利用児の状況等を情報共有できるよう配慮しています。適宜、対面にてご相談も可能ですので、お気軽にご連絡ください。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1名	0名	6名		・保護者から要望があれば、必要に応じて対応しています。今後はプログラムを策定し、選択できるように検討していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7名	0名	0名	・契約書、重要事項説明書にて詳しく説明しておりますが、ご不明な点がございましたら、いつでもお声掛けください。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7名	0名	0名	・保護者様へ利用児の子育てや生活等に関する相談援助を行っています。お気軽にご相談ください。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0名	1名	6名		・開業し、1年未満なのでそこまでの交流の場を設けるまで至っており、今後開催できるよう務めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2名	5名	0名	・保護者様より要望があれば、対面で利用児の生活状況等をご相談できるよう配慮しています。必要時に相談援助を行う旨、保護者様へ通知し対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0名	1名	6名		・今後、会報・ホームページ等で保護者からのアンケート結果や活動プログラム等を公開していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7名	0名	0名	・兄弟児以外の固有名詞や写真等を出さないように注意しています。 ・外部への文書の取り扱いについても注意しています。	・個人情報のファイル等は、鍵付きの棚に管理しています。外部への持ち出しの際は借用名簿を利用しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4名	1名	2名		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0名	1名	6名		・自治会の公園を利用し地域と交流しているが、行事へ地域を招待するまでには至っていないため、今後は地域交流の場を検討していきます。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7名	0名	0名		・保護者へ文章で通知し、いつでも閲覧できるよう、玄関に会報します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7名	0名	0名		・保護者へ文章で通知し、いつでも閲覧できるよう、玄関に会報します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7名	0名	0名	・委員会を設置し、委員会が主となり、研修・訓練を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2名	4名	1名	・事業所内で委員会の設置を行い、保護者様への説明・周知していきます。	・事業所内で委員会の設置を行い、保護者様への説明・掲示していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2名	4名	1名		・アレルギーの有無は確認していますが、食事の提供は行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7名	0名	0名	・発生時に支援会議を行い、対応策を検討しています。	・ヒヤリハットの優先度に応じて、チェックリストを作成します。重要度に応じて、定期的に支援会議を行い対応策を検討していきます。